

ロータリー：
変化をもたらす

地区指導者育成セミナー講演

テーマ 「ロータリーの今日的課題」



2017-20年度
ロータリー公共イメージコーディネーター（第1ゾーン）
鈴木 秀 憲 様

ご紹介頂きました鈴木と申します。どうぞよろしくお願い致します。先程もガバナーも仰っていましたけども、まさかRI会長代理さんが目の前にいらっしゃるとはわたくしもちょっと予想してこなかったもので、ちょっと調子が狂っちゃうかなというふうに変な緊張致しております。自己紹介の中で、わたくしは吹上ロータリークラブという小さなロータリークラブに所属をしておりますが、実はわたくしの仕事は埼玉県行田市という所をベースとさせて頂いております。その行田市は、実はこちらの白河市とは友好都市になっております。クラブも確か、行田ロータリークラブと白河ロータリークラブさん、友好クラブになっていると思います。そんなようなことで、行田とこの白河の地は実はご縁があります。

ロータリーとはちょっと関係ないんですけど、2~3分でそのことを話をさせて頂こうというふうを考えております。

白河の皆様方はご承知のことだと思うんですけども、江戸時代の末期ですね、末期という表現でいいんですかね終期なんですけど、1823年だっ

たと思います。白河の殿様が桑名へ転封になりました。桑名の殿様が私共の埼玉の行田へお見えになりました。行田にいた殿様が白河へ代わり三か所いっぺんに代わったわけですね。三方所替えというふうな言葉を使っておりますが、私の聞いているところによりますと、白河の松平さんのご希望が、松平さん元々桑名のほうにおられたということで、どうしてもふるさと桑名のほうへ帰りたいと松平さんのご希望が強かった。それから、阿部さんにはちょっと失礼なんですけど敢えて失礼を、というのは阿部さんのご子孫と今、親しくさせて頂いておりますので、阿部さんのご子孫からお伺いをしましたので敢えて申し上げますと、阿部さんのほうでお世継ぎの方がおられなくて、昔は世継ぎがおられないと藩がもう終わりになっちゃうんですね。ところが、阿部家というのは代々5代に渡って老中をやっていたんですね。名門なもんですから、潰すわけにはいかない。じゃあ、ちょっと埼玉は江戸に近いわけですから所払いというんでしょうかね、で福島の方へ。松平さんが桑名に行きたがっている。じゃあ、空からそこへ阿部



ロータリー：
変化をもたらす

地区指導者育成セミナー講演

さんをとということで、行田から阿部さんがこちらへ来ました。でそうすると、桑名にいた殿様が追い出されて私共の行田のほうへ来た。こんなような関係がございます。追い出されなんて言うとは殿様に大変失礼なんですけど、今、実はその殿様のご子孫とも親しくさせて頂いておまして、いろいろと地域で昔の幕末に藩の学校、藩校というのがありました。その藩校を中心とした教育事業等をいまだにやっております。今日、後で紹介があるんですけども、私ども行田からわたくしの所属しております2570地区のガバナー細井さんもお見えになっておまして、またあとで紹介のセレモニーがあるんですけど、この細井さんも一緒にその青少年育成事業に携わっております。そんな関係がありまして、この地とは大変親しくさせて頂いている。なんか親戚へお邪魔するような気持ちで今日はお邪魔させて頂きました。大した話ではありませんけれども、思いの文をお話をさせて頂こうと思っております。どうぞよろしくお願いを致します。

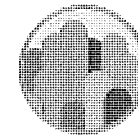
題を頂きまして「ロータリーの今日的課題」という非常に難しく、何か新しいことをどんどん言わなきゃいけないのかなとは思ったんですけど、付け焼刃であんまりよくわからないことを申し上げるよりも、日頃考えてることをちょっと申し述べさせて頂こうというふうに考えておりますので、よろしくお願いを致します。

今、自己紹介させて頂きましたが、こちらは2530地区、第1ゾーンに所属を致しております。わたくし第1ゾーンの2570地区から参りました。2012-13年度の地区ガバナーを務めさせて頂きました。残念ながらこちらの地区では伊藤パストガバナーが私同期なんですけど、他界されて大変残念だということには思っておりますが同期でございます。

去年は、地区の研修委員長を務めさせて頂き、今年は細井ガバナーのもとで地区戦略計画委員長と副ガバナーを務めさせて頂いております。副ガバナーという言葉がなかなか慣れない、あまり聞かない話だというようなことをよく聞かれます。ある人に言われました。「お前、パストガバナーなのに副ガバナーやって、また来年ガバナーやるのか。」って言うから、そうじゃないんだよ。副ガバナーというのは、細井さんには大変失礼なんですけど、細井さんがくたびれちゃったら僕がやるんだよと冗談をいつも言っておりますが、次は行わない副を務めております。

現在、国際ロータリーの公共イメージコーディネーター第1ゾーンの担当です。コーディネーターという職がいくつかあります。一番最初にできたのは、財団のコーディネーターというふうに伺っております。ロータリーリージョナルファウンデーションコーディネーター、RRFC。ロータリーはどうもこの横文字を使うので難しいんですけども、財団のコーディネーター。それから次にロータリーコーディネーターという方ができたんだというふうに伺っております。通常、RCというロータリーコーディネーター、RCとっております。RCというと、どうもロータリークラブと勘違いしちゃうんですがロータリーコーディネーター。そして、私達はロータリー公共イメージ、ロータリーパブリックイメージコーディネーターということで、RPIC、略してアールピックと、こんなことを務めさせて頂いております。

仕事は、旅客自動車運送事業、観光バスとか路線バス、あるいは特殊輸送ということをやらせてもらっております。地域では商工会議所を務めさせて頂きました。もうこれは終わりました。現在、行田法人会。あるいは、行田交通安全協会等の長を務めさせて頂いております。いろんな役を



ロータリー：
変化をもたらす

地区指導者育成セミナー講演

やるのが好きなんじゃなくて、役を言われたらなるべく役に立つのならやらせて頂きたいという考え方でやっております。小さく書いておきました。まだ幾つかの仕事をやらせてもらったり、また現役であつたりも致しております。これちょっとあとで関係ありますので、敢えて書かせて頂きました。

まず、ロータリーの目的、これからちょっと話をしていきたいと思っております。どんな会にでも必ず目的があるわけですので、およそ目的のない会というのはないわけですから、まずロータリーに入るといったらロータリーの目的をきっちり理解してお入り頂くべきだろうと考えますが、どうですかね。俺が勤めるんだから入れよとか、大体そんな感じが、付き合いで入れよとか多いかと思っております。改めてロータリーの目的というのはやはり考えておくべき必要があるでしょう。

これは新しくなった白い表紙の手続き要覧の確か7ページに出ております。ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある。具体的には次の各項を奨励するというんですけど、その後4つの項目が

あります。1、知り合いを広め奉仕の機会とする。2、ロータリアン各自の仕事を高潔なものにする。3、社会生活において奉仕の理念を實踐する。4、奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すると、こうなっております。こうなると、とてもこの4項目を含めてそらで言うということは大変難しいだろうというふうに思っております。ここに簡単に表現するということにさせて頂きました。全文は先程読みましたが、これよく読んでみると、ロータリーは奉仕を実行する団体であるというふうに書いてあるというふうに受け止めても良いんじゃないでしょうか。あまり難しい表現はどうも私できないものから、簡単にこんなように理解を致しております。この奉仕という言葉は、よく耳にするのはいつもそうなんですけども職業奉仕との形で出てきて、値引きをしなきゃなんないのかというんなことがよく言われておりますが、敢えて今日は皆さんから質問受けたら困ると思っ辞書引いてきました。そしたら、辞書には人のために尽くすことと書いてありましたね。そして一方で、値段を安くすることという説明も辞書に





ロータリー：
変化をもたらす

地区指導者育成セミナー講演

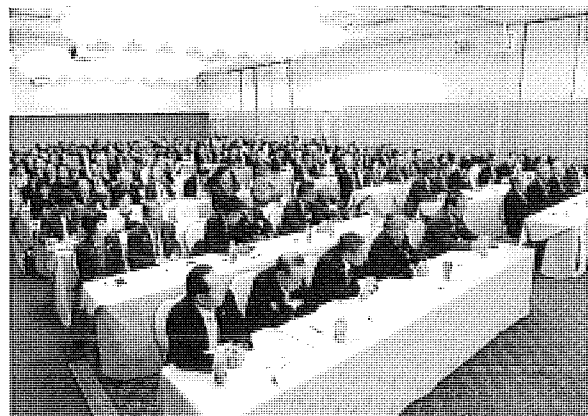
はありました。ロータリーの場合は当然値段を安くすることではなくて、人のために尽くすことということになるわけでございます。

第一項の、知り合いを広め奉仕の機会とする。これは要は仲間を共に奉仕しましょうよと、こんなふうに理解したほうが覚えやすいんじゃないでしょうか。僕はそのように考えております。

2番目のロータリアン各自の仕事を高潔なものにする。この高潔なものにするという言葉が非常に引っかかってくる。倫理観がどうであるとかいろいろ難しくなってきた、しまいには訳がわからなくなってきた。これ私自身では自分自身と自分の職業を磨くことと、こんな具合に理解を致しております。

3番目の社会生活において奉仕の理念を実践する。これは比較的わかりやすい。地域社会で奉仕活動をしましょうねということでありまして。

4番目の奉仕の理念で結ばれた職業人や世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進する。これもその言葉通りで、ロータリーが持つ世界的ネットワークを通じて国際理解や親善平和を推進すること。こんな具合に平易に言えば覚えていただけるかなとそんなふうに思っているわけでございます。それでもこれ全文と4項目と全部あると大変だなということで、もっと簡単に表現したらどうだろう。実はわたくしこれから一応



自分が考えたことを出させて頂きますけども、これらを是非クラブで話し合ってみるのもいいことなんじゃないのかなというふうに思っております。これは私流でロータリーは自分と自分の職業を磨きながら、地域社会や国際社会で奉仕する団体です。これで先程の4項目のうちの2番目3番目4番目が入っております。では1番目はどうしたんだろうという、最後にあなたも一緒に参加しませんかと。要は、これでお勧めをして奉仕と一緒にしましょうよというふうな形になれば、これで4つのロータリーの目的を簡単に表せるかなというふうに自分では思っております。せっかくですから、これも地区役員の皆様方、そしてクラブのリーダーの皆様方を前にしてこのようなことを言うのも大変失礼なんですけども、なるべくとにかく簡単な話で持って行きたいというふうに考えましてこんなことを題材にさせて頂きました。

クラブ奉仕というのがよくわからないと言うんですけれども、これは一般の団体でいえば組織運営のことというふうに理解ができるだろうと。一般の会ですと、総務委員会であるとか、総括委員会であるとかと、そういったようなところが負担されるような仕事が多くあるというふうに理解しておられます。

まずは、組織運営の中で我々会員の義務は、出席と会費納入と「ロータリーの友」購読と、読が入っていないといけないんです。購入じゃなく購読ということになっているわけなんですけども、今日はその中から皆さん方ご存知のことなんですけども、取って言葉としてまとめるようにさせて頂きました。ロータリー出席の3、4、5、6という言葉を使わせてもらっております。これなんかも今日、会長さんもおられるということですから、クラブでクラブの会員の方々にこんなようなことをやりわりと言いながら、なるべく出席率や何かを上げ



ロータリー：
変化をもたらす

地区指導者育成セミナー講演

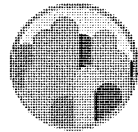
ていくのに使ったらどうかと。これは3、4、5、6を6から言わせて頂きます。

例会の最低限6割の時間を出席しなければならない。例会に出てきてちょっと経つと、今日は早退ですと帰っちゃうんですけども、僕らが入った時には例会の6割、36分を経過してからでないとい出られなかった。今は見ていると、来てうっかりすると始まる前に、お昼食べてじゃあよろしくなんて言って帰っちゃう人いるんですけども、やはり6割は出席をしていなきゃいけないというふうなことがあります。その6です。じゃあ、5は何だろうということになりますと、これは5は5割なんですけども、出席率は50パーセント以上ちゃんとキープしてくださいねと。メーキャップしてでもいいから、50パーセントはキープしてくださいねというための5ですね。では4は何かと申しますと、連続欠席4回以上は駄目ですよと。これいろいろと調べたんですけども、連続欠席4回以上駄目というのは書いてあると見つからないんですね、いろいろ調べましたら、欠席がというよりも例会を連続4回以上休会にしては駄目ですよというふうなことでございまして、それを裏返しの言葉で4回以上休んでは駄目ですよと、こんなふうなことになるわけでございます。ですから、会長さん何かの都合で4回以上例会を休むのはまずいんだということをご理解を、まあそんなに長く休むということもないでしょうけども、ご理解をさせて頂きたいと思っております。じゃあ、3はなんですか。どなたか3はご存知でしょうか。ホームクラブ出席30パーセント以上は必ずしてください。メーキャップはしても結構です。メーキャップして50パーセントは維持してくださいねと。一番危ないのは実は私達、結構危ないんです。クラブで頼まれたり、あるいはよその地区へ頼まれたり、あるいはロータリーの関係の日本事

務局のほうへ行って会議があったり、うっかりしていると自分がそんなふうになりかねない。ですから、ホームクラブはどんなことがあっても30パーセント以上で出なければいけない。まあ、こんな事があるわけでございまして、もしクラブにちょっと欠席の多い方がいらっしゃったら、こんなことをわかりやすく数字で言って頂いて守って頂けたらよろしいのかなというふうに思っております。

ついでに、ロータリーの3、4、5、6、これを書きたいと思っております。要するに、3つの何々ですね。まず最初は、3つのということになりますと、もう皆さんご承知の通り戦略計画の中の3つの優先項目というふうなことになるわけでございます。戦略計画の中の3つの要素。じゃあ、4つは何でしょうか。4つはもうどなたでもよくご存知、4つのテスト。それからあと一つ、先程ロータリーの目的、これも4項目でこんな形でそういうのがあるんだなとご理解を頂くと、会長さんクラブの方々にこんな話をして頂くと幾つかの項目も覚えやすくなるのかなと思っております。4つのロータリーの目的、先程申し上げました。では5つの、もうここにくると皆様よくご存じで中核的価値観。この中核的価値観という言葉は、なかなか通常ではあんまり使わないですね。ですから、これは僕はクラブなんかではロータリアンの行動起案だと、そういう言い方を致しております。5つの中核的価値観。そして、6つのこれは一番皆様方よくご存じの重点分野というふうなことになるわけでして、これらもロータリーの3、4、5、6ということでお話されるとクラブの方ではわかりし理解をして頂きやすいのかなというふうに思っております。

戦略計画の3つの優先項目。これも何回も出て参ります。それほど重要なわけなんです。こ



ロータリー：
変化をもたらす

地区指導者育成セミナー講演

これはさっき3つの優先項目ですけど、さっきコーディネーターが3ついますと。財団コーディネーター、ロータリーコーディネーター、そして公共イメージコーディネーターといますけども、結局この優先項目に準じてコーディネーターがられるわけですし、人道的奉仕をまずロータリーは最終的には、これはちょっとわたくしの勝手な思い込みかもしれませんが。ロータリーとしては最終的にはやはり人道的奉仕を進めること、これが最終的なことだろうと自分では思っております。これ私流のストーリーを作りました。3つの項目というと、単に項目だけを箇条書きで覚えているとなかなか覚えにくいものですからこれをストーリーにしました。人道的奉仕をまずは増やしたい、ロータリーとしては。費用が大変必要になります。じゃあ、その費用はどうするかというと、費用を増やすのには会員さんにもっと出して貰えばそれは費用は増えるわけです。でも、正直言うとあんまり沢山出すのもどうかなということになります。だとすれば、そこで人道的奉仕の増加ですね。それだったら一人当たりの増額よりも多くの仲間を増やした方がいいじゃないかと。そこにこの仲間を増やす会員増強ということがでてくる。これがクラブのサポートと強化という2つ目のことになるわけです。1つ目が人道的奉仕の重点化と増加。2つ目がクラブのサポートと強化。そして、会員増強するためには世間に良いイメージを持って理解して頂きたいというふうなことで、公共イメージと認知度の向上とこれがくるのかなと。ちょうど、ストーリーとしてもこの順番ですし、コーディネーターが出てきた順番でもあるわけですし、こんなストーリーで覚えたらいいのかなと、こういうふうにご覧しております。実は、これは公共イメージと認知度の向上をやる则会員の増強に繋がると。会員増強に繋がると、人道的奉仕

が増加する。人道的奉仕を増加したらどうなるかということ、更に世間の評判が良くなると。要するに、この3つの項目がグルグル回ってるなど、いい循環で回るなど。逆に言えば、これがその理由になってくるなど。こんな具合にわたくしは理解を致しております。中核的価値観につきましては、後程説明をさせていただきます。先程、クラブ奉仕と言いました。

それから、やはりロータリーは職業奉仕だねということ職業奉仕をお話させていただきますが、最近職業奉仕に対する考え方、とらえ方もだいぶ違ってきているようです。それはいろんなお考えがあるわけですし、いいとか悪いとかというふうなことではないんですが、これはもうわたくしの考え方というふうにご覧いただければいいんですが、職業奉仕というのは社会にとって世間にとって必要な仕事をする。必要な仕事を提供することが職業奉仕だということ、わたくしは理解を致しております。世間に必要な仕事を行った結果、対価を得られるというふうにご覧しております。職業で世間へ奉仕するということは何だろうということ、先程も申し上げましたが、結局は世間の方々に必要な有益な良い仕事を提供させて頂くということは、自分と自分の職業を磨いていく。そうすると、自然とお客様から喜ばれ、自然と売り上げも上がっていく。もちろん、シェルドンの言葉を出すまでもなく、やはりそういった結果として出てくるんだろうと思います。

製造業は製品の質を高める、磨くというのは何なんだと言われたことがあるんですね。まさか品物を磨くというふうには皆さんにとっては頂かないんですけども、製造業とすれば製品の質を高めること。あるいは、使い勝手のいい製品を開発して頂くこと。常に必要なものの開発というようなものは製造業では出てくるでしょう。それから、商



ロータリー：
変化をもたらす

地区指導者育成セミナー講演

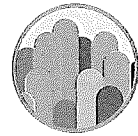
業は商品の内容を高めること。そして、メーカーさんへもやはりこういったものが必要である。お客様のためを考えて行う。商業は商業としての磨き方があるでしょう。そして、サービス業はサービス業のレベルを高めること。これらが磨くということだというふうにご覧しております。

続いて、社会奉仕の話、社会奉仕の時にまずは何が最も地域のためになるかということをお話しすることが大切だろう、クラブでやると、うちのクラブでは長年こういった奉仕事業を地域のために行っているというふうなことになってきて、やるとその維持、継続でいく場合もあるんじゃないでしょうか。やはり、行うことも大切ですけど、その前に何が必用なんだろうということをお考え頂く。何が地域社会のためになるか。つまり、何が公益事業なのかということ、クラブで議論して頂いたらよろしいんじゃないでしょうか。ロータリーのメンバーの方は、ほとんどの方が地域の法人会へご加入されていることだろうと思います。法人会はこの5年で、一般の社団法人から公益社団法人に皆組織替えをしたと思います。法人会の会長さんをおやり頂いている方もいらっしゃると思いますが、大体5年前からしてるわけですが、法人会もただ集まっていればいいということではなくて、公益事業をやりますが、ロータリーこそ公益社団法人とかなってませんが、一番公益の事業をやっていると自負できる団体であろうと思います。ですから、クラブで何が公益なのかということをお話し頂くことが大切だろうと、一部の人が必要としていることでは、世間の人が必要としていることにはなりません。一部の人が皆必要だからやるんだよといっても、それ一部だったらやはり世間ということにならないでしょう。世間の人が必要と

していないならマスターベーションと言われかねない、後でちょっとまた触れることが出てきますが、ロータリーって金持ちの集まりみたいって言われることがあります。それはやはりもしかすると奉仕活動がマスターベーションととられてるんじゃないのかな、そんなようなことも自制もしてみ必要があるんじゃないでしょうか。

次に書かせて頂きましたのが、HOWも大切だがWHYがもっと重要ですよという言葉ですね。いわゆる地域の社会奉仕事業、おそらく社会奉仕委員長さんになると今までどうやってた、まずそれを勉強してなるべくそれに近いような形でやっというご様子で一般的だということに思っています。それはHOWどうやるかを知ることであると思います。ですが、それも大切ですけど、もっと大事なのはWHY。なぜやるのだと。要するに、なぜこの奉仕活動をするんだということがわたくしの申し上げたいところでございます。ですから、長年の継続事業も見直す必要がやはりあるでしょう。これを言うのは大変なんです。クラブで長年続けてきている、20年30年続けてきている事業を見直すなんて言うと、まあ先輩から怒られるんですよ。今はもう、私も年取っちゃったから自分が先輩になっちゃったけれども。私のクラブ、小さなクラブですけども、実は吹上という昔は町があった

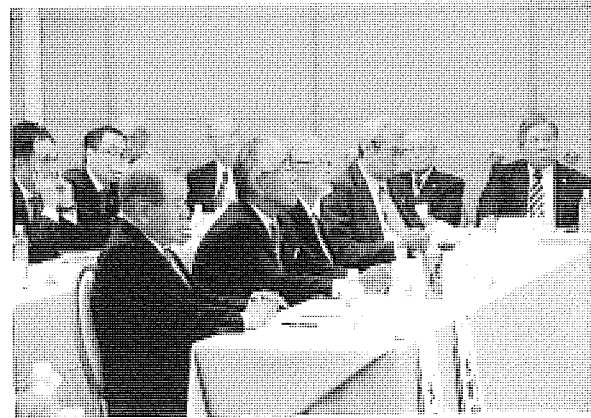




ロータリー：
変化をもたらす

地区指導者育成セミナー講演

んです。町があったので吹上ロータリー、今は町はなくなっちゃったんです。吸収合併された地域のロータリークラブになかなか来ないで、吸収したほうの大きなほうに皆さん行っちゃうんですね。うちのクラブちっとも増えないのでこんな愚痴言ってもしょうがないんですけど。それはともかくとして、この吹上ロータリークラブでは、もう30年にわたって実は地域の青少年を福島県の金山町に青少年をキャンプに連れて行っています。金出して子供達をキャンプに連れていくのなら、今どきそんなことをやらなくたって商売でやっている方々もいるんですが、敢えて自分のクラブの自慢しちやいますと、小学生を連れて行った、その小学生が中学になりやがて高校生になると、今度は高校生となって小学生を指導するほうに実は回ってくれています。全員じゃないですけども、自分達がキャンプで経験したそのことを、今度は自分達が今度は次の子供達に伝えようという形で。これは私素晴らしいなと思って、30年間やってるけど見直そうよと言ってるけども、なかなかこれは見直すわけにはいかない。見直した結果、やはりこれは必要だろうということでやらせてもらっている。ですから、長いものも見直しを是非してください。見直しをした結果、必要な事業なら継続して頂ければいいんです。ただ30年間やってるから、30年も経ったらね、せがれが私の年になっちゃってるわけです。これから30年経ったらとても私もないわけで、世の中が随分変わっちゃうわけですから、ただ長く続いているじゃなくて、必要性は是非見直しをして頂きたい、このようなことを申し上げております。必要でなくなっていれば、思い切ってその事業はもう整理しちゃいましょう。整理すればどうなるかという、出番を待っている新しい奉仕に着手しましょう。よくよく見れば、こういったことが必要



じゃないかというのがまだまだあるはずですよ。そういったことに着手する方がむしろ大切なのではないだろうか。こんなようなことを言わせて頂いております。

それから、継続中の事業も他の団体と協力や、あるいは他の団体に移譲することも検討してもいいんじゃないでしょうか。これもうっかり言い間違えたと、ロータリーがせっかくやっている事業を他の団体と一緒にやるとか、他の団体に渡しちゃえなんて何考えているんだと、こんなようなことを言われるんですけど、これもちゃんと手続き要覧をご覧頂くと書いてあります。社会奉仕事業についてのことということで書いてありますから、後でご覧になってください。必要であるなら他の団体と一緒にやる。一緒にやることによって、その団体ともこちらはその団体を理解する。その団体もこちらを理解している。

それからもっと直接的なことをいえば、ロータリーだけで出すよりも、他の団体にもご協力頂ければ費用の負担も少なくなるとあるわけですから、こんなようなことも考えて頂けたらいかがでしょうか。継続中の事業を必要ならば、他の団体と協力することもよし、場合によってはどうしても地域全員でやらなきゃいけないといったら自治体をお願いすることだってあり得る。どうしても必要なことを何十年もやるなら、税金からやって貰お



ロータリー：
変化をもたらす

地区指導者育成セミナー講演

うよ。自治体をお願いすることもあり得るわけです。そんなことも是非お考え頂いて、私達は新しい事業のことも考えましょう。

最近、こんな言葉が出ています。必要なら地域社会共同体という言葉があります。これはロータリーと地域の方々とロータリアン以外の方々とロータリーと一緒に奉仕活動をする。ああ、奉仕はいいもんだな、そうはいつでもロータリーの会費なかなか高くて厳しいよというような方がいらっしゃるような場合には、じゃあロータリーには入られないけど、その奉仕活動をやろうよ。そういった人達の活動を支援する。ロータリーがそういったことを作ることも支援してあげて活動も支援する。こんなようなことも最近話としてはロータリーのほうで出て参りました。地域社会共同体、こんなようなことがあるんだということもご理解頂ければよろしいかなというふうに思います。これからのロータリーを作るのはあなた。ちょっとかっこいいようなことを言わせて頂きましたが、2016年の規定審議会でクラブ運営に柔軟性を持たせました。ここまでは皆様方もわたくしが言うまでもありません。これは決して緩くするのではないのですよ。緩くするということではなくて、クラブ運営をいちいちRIが決めつけるということではなくて、各クラブの自主性を重んじるということを、これを是非ご理解を頂きたい。ややもすると、だいたいロータリーも楽になったよなで終わりになっちゃうんですが、そういうことではなくて自分達で決めて、決めたことは自分達でしっかり守ってくださいねということだということをご理解頂きたいというふうに考えております。自分達で決めたことはしっかりやりましょう。そして、ロータリーは団体としては世界の模範になりましょうよ。RIの指導者の皆さん方、皆さんそう思っているわけですし、団体としてはロー

タリーは世界の模範になりましょうよと。そして、心が通う組織的思考をしましょうというのが一番言いたいところなんです。ロータリーという個の集団です。他の組織に比べると、若干組織的思考が弱いんじゃないかなと感じる部分があります。何かについて絶対こうではないといけないというよりも、推奨しますとかそういった言葉でいろんなことをしているわけですし、ちょっと他の会社なんかだったら推奨しますなんて言わないですね。こうやれで終わりなんですけど。ちょっと組織的なそのいろんなことも、組織的に考えることがちょっと欠けているなと思うわけですし、物事ちょっと組織的に考えましょうよ。ただ、その前に心が通うという言葉は付けさせて頂いたのは、いくら組織組織といっても個の集まりなんだということも理解しておかないとよくありますね。組織のためにということで、大企業がややもすると隠ぺい工作をしちゃうとか。最近、刑事もののドラマなんか見たら大体そうじゃないですか。上の人が都合の悪いことやってるのはみんな隠しちゃう。まあ、あれは組織の言葉を借りてあれは上のほうの人が自分の都合がいいことをやっているだけで組織的思考とはいえないと思っております。組織的思考とは、皆様方の個々を生かしながら組織全体を活性化させていくことなんです。心が通う組織的思考と勝手にこんな言葉を作りました。そして、個人としては世間の模範だろうと。世間の模範になるようにしましょうよというのが言いたいところなんです。世間の中のロータリアン。ロータリーだけの世界だけではなくて、世間の中のロータリアン。世間の中で我々は生かされているというふうなことも言いたいところのございましてこんなところを言わせて頂きました。個人として世間の模範になろうという部分ですね。ロータリーは昔の日本でいいますと、陰徳という言葉



ロータリー：
変化をもたらす

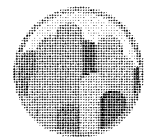
地区指導者育成セミナー講演

を先輩から教わりました。入った当初は、やっぱりそんなようなことを陰徳という言葉で聞きました。あまりロータリーはあれやった、これやったなんて宣伝するなとよく言われました。昔は陰徳あれば陽報あり。いいことで報われるよと、このような言葉であったわけですが、しかし、現在ロータリーが進めている人道的奉仕を加速させるためには、世間でもっと知って頂きもっと協力をして頂こうと、こんなような考え方もあるわけですし、決してひけらかすわけじゃないですが、そのような考えからロータリーを世間にもっとよく知って頂きましょうよとこれが必要になってくるだろうと。それが公共イメージと認知度の向上。認知度だけ向上しても、公共イメージがアップしてないとちょっと良くないわけですし、公共イメージと認知度が両方が向上してこそそのロータリーになるわけでございます。

公共イメージ、つまり世間のためになっているということが一番でございます。認知度は世間に知られていると、こんなような具合になるわけでございます。ですから、良いイメージで知らなくてはならない、こんなようなことになるわけですね。公共イメージといいますと、多分こちらの地区でも広報委員会がありますか。公共イメージ委員会があるんですか。多分ないところは広報委員会か何かが多分担当されている。広報とこれは切っても切れないものになるわけですから。公共イメージの向上ということになりますと、広報の方法をどうやろうあやろうというようなことは言われるんですが、まあそれも大切なんですけれども、結論言っちゃいますとどんなうまいことを宣伝してみても世間の人はあんまり言うてことは聞かないんです。聞いていないんです。世間の人はロータリアンが何やっているのかを見る。このようにお考え頂いたほうがいいんじゃないで

しょうか。これは今、世間でいろんなコマーシャルありますね。サプリメント、あれに効くこれに効くとかいろんなことを、いろんな有名な人が出てきちゃっている。でも、あれみんな本当かね、こんなの中々ならないよなんて。お腹の出ている方がスリムになって出てくるコマーシャルあるじゃないですか。有名な人が結構スリムになって出てくる。あれね、スリムになると300万円貰えるんだそうですよ。この間、聞きました、やった人に。よくやったねって言ったら、300万円貰えるんだよ。でも、いろんな人がチャレンジして貰えていない人が沢山いるそうです。広報してもなかなか今はなんか薬の宣伝なんて多いですよ。でも、本当かなと。ですから、それよりもロータリーが口で宣伝するよりも、行動を見てるわけですから世間から見られて恥ずかしくない行動をとりましょうよというのが言いたいところでありませう。じゃあ、どうするんだというその中心をなすのはロータリーの中核的価値観、これが我々の行動規範であろうと。先程出ました5つの中核的価値観、5つもあるとなかなか覚えにくいんですけども、元々ロータリーは奉仕と親睦だと話に出ていますから、奉仕と親睦は言わなくても皆知っているわけです。そうすると、あと3つですからわかりかし簡単になってくるんですね。奉仕と親睦、これはもう言わなくてもいいんです。次に出てきますのは、多様性と高潔性。高潔性は先程職業奉仕のところでも申し上げました。いわゆる、倫理観を持ってというふうな言葉だろうと思います。高潔性、インテグリティですね。あんまり日頃使わない言葉なんですけれども、まあやはりこれは大切ですね。

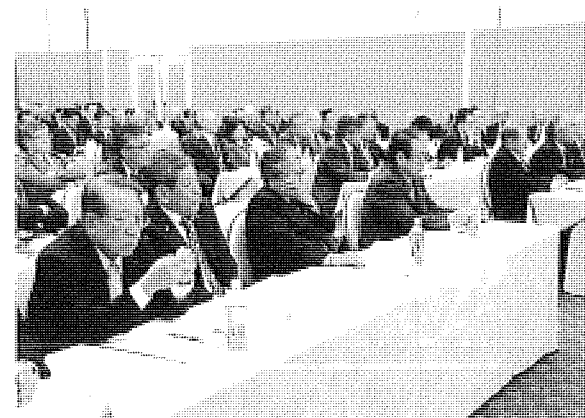
ロータリアンが何か不祥事を起こしちゃったり、新聞沙汰になるようなことがあっちゃ不味いと、こんなようなことであるわけですね。そして、もっ



ロータリー：
変化をもたらす

地区指導者育成セミナー講演

とわかりにくいのが皆さん、多様性であろうと私は思っています。多様性は何かという人を理解することというんですけども、人を理解するなんて当たり前のことなんですけど、日本ではあまりこの多様性が有効というかあまり必要性を感じないというか、そんなことはないんですけど、わかりやすいのは外国です。特に一番わかりやすく説明するのにヨーロッパを使わせて頂きますとわかりやすい。ヨーロッパは一つの国でも人種が違う。言語が違う。宗教が違う。この3つはみんな重要なものなんです。この違いがありながら一つの国を為している。一つにまとまっている、いや、まとまってないから、たまにスペインのカタルーニャは独立しようとか、いや、やっぱりまずいよとかいろいろ言っているわけですけども。そのようなことが外国では沢山ある。よく平和の象徴として言われるスイス、永世中立国のスイスですね。話がちょっとまた横行っちゃいますけど、スイスを見習わなきゃだめだと、あそこは永世中立国であそこは軍隊もないなんて言ってる人がいたんですよ。とんでもないですね。あそこは徴兵制ですからね。そんなことを言ってる人がいるんですよ。テレビで言っていましたよ。どうかしてるんじゃないかと思ったんですけど。まあ、話は別として、スイスもいろいろと言葉が違うんですね。チューリッヒ、あっちのほうはドイツ語なん



です。サンモリッツなんてイタリアに近い方はイタリア語を使っています。ジュネーブはフランス語なんです。言葉が一つの国で違うわけなんです。宗教の違いなんていうのも沢山ありますし、宗教でもっと怖いのはびっくりしましたね。キリスト教徒とイスラム教徒とユダヤ教ですか。聖地がみんな一緒に取りっこしている。あんなの聞いて本当にびっくりしちゃうわけですけども、とても私達には理解できない。その他に民族の違いがある。ですから、あちらではその多様性というのは本当に大切なわけですね。日本は宗教といって一応、神道、仏教、キリスト教とかありますけど、ずっとそれを通してかということもそうでもなくて、ある時は神様の前で誓い合ったり、キリスト教の前で誓い合ったり、死ぬ時はお寺さんに行ったりといろいろ違うわけですけども、外国ではこれが切実なんですね。

僕はこのコーディネーターを受けるにあたって、実は勉強しなさいと言われて、シカゴ郊外のエバンストンにあるロータリー本部に4日間缶詰で勉強に行ってきました。世界からそういった新たにコーディネーターになる人が来ていました。日本ではコーディネーター全部男なんですけども、結構ヨーロッパとかアメリカとか女性が多いんです。その中である女性から質問が出ました。ギリシャの方です。これ一生、私忘れられないくらいショックな話でした。コーディネーターはそのゾーンの中を回って各地区でお話をさせて頂くわけなんですけども、その方はギリシャの方でした。私のゾーンの中には、身の危険を感じる地域があるんです。こういうことなんです。よくよく考えてみたら、ギリシャとトルコは非常に今はあんまり良くないですね。ある時、私ねギリシャとトルコへ行こうと思って調べて、車の乗り入れしようと思ったら全然できない。よく調べたら仲が



ロータリー：
変化をもたらす

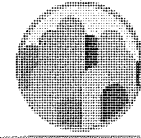
地区指導者育成セミナー講演

良くない。だから、身の危険を感じるというんです。それから、その女性の方はあと一つ、女性を受け入れない国があるんではないですか。アラビアのほうです。サウジアラビアかな。というふうなことですね、本当に入り混じって、そして一つのゾーンになっているんですよ。ゾーンの中で、答えは簡単でしたねR Iでは。補佐の方にお話しなさいというふうなことで。トルコはトルコの方に補佐をお願いしなさい。そうすれば、大丈夫でしょう。さすがはR Iだなと思いましたけれども。そんなことがありまして、多様性というのはロータリーとしては非常に重要な部分があるんです。日本はあまりこの場面に出くわさない。最後は指導力ということで、この5つが我々の行動規範です。一つご理解を頂きたいと思えます。そして、ロータリーの場以外の場でも積極的に活躍をしましょうよ。これまたもうちょっと後半でお話をします。ちょっとここで一息入れましょうかね。

この後、第2部ということで。休憩時間ないですよ。すぐ行きますけども。私ね、実は車大好き人間でして、今日ここへ来るのも埼玉から車で来ました。大体国内全部車で走っちゃおうというふうに考えているくらい、ヨーロッパはほとんどの国を全部回りました。行かなかったのはギリシャとトルコなんです。入れてくれないんです、車では。普通に旅行で行くのは入れてくれるんですけどね、車じゃ駄目なのであそこは諦めました。これは何でしょうと聞こうと思ったら文字が出ていましたね。これアウディなんですよ。1930年半ばに4つの会社が合併してできた会社なんです。アウディ、アドラー、ポルヒ、デカベ。だから、アウディの前には輪っかが4つ付いているんです。あれ4つの会社が合併してオートユニオンという会社になって、今は社名もアウディになりまして、

インゴルシュタットってミュンヘンの100キロくらい北のところにあります。私、今日呼んで頂いたのは公共イメージコーディネーターということですので、もう少し公共イメージのことだけお話しさせていただきます。

これから申し上げることは、資料の出典ではマイロータリーから入って頂いてその資料を引っ張り出して頂いてください。こういうことになっているんです。私もこのマイロータリーから引っ張り出すの大変ですね。これはコピー、データを置いていますので、後でこれもし必要でしたらば、コピーするなり何なりして頂いて結構ですから、そうすると資料がこの順番でやると出てきますよというのが書いてあります。私も正直言って画面見ながらじゃないとなかなかうまくいかないので書いておきました。ここで言いたいのは、R Iが出している資料にも公共イメージについて資料が出ていますからそれをご覧ください。それから出てくる資料、これからちょっとやって参ります。アールピックから地区への支援ということになっていますが、アールピックとエーアールピックとか。Aが付くのは、ARCとかARRFCとか、Aが付くのは補佐という意味ですね。アシスタントということです。アールピックやエーアールピックは各地区の各種セミナーのサポートをしますということで、地区チーム研修、PETS、あるいは地区指導者研修セミナー、今日のような会議ですとか、あるいはそのほか会員増強セミナーですとか、そのような時に呼んでくださればお話しさせていただきます。基本的には地区でということになってますが、分区単位でも必要であればお話をさせていただきますと、こんな具合になっておりますので必要があれば仰ってください。これから、引っ張り出した部分からのものを出していきますが、よくご覧頂くとゴシック体とそうじゃ

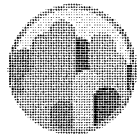


ロータリー：
変化をもたらす

地区指導者育成セミナー講演

ない筆記体みたいなのがあるんですが、ゴシック体はそのまま資料から出ているものをそのまま書いてあります。筆記体はわたくしが追加している部分なんです。ロータリーの最も新しいメッセージと公共イメージキャンペーンを生むきっかけとなった最近の市場調査の結果を理解すると、こうなっています。ロータリーのコミュニケーション活動を高めるための、新しい公共イメージ関連リソースの活用について学ぶ。まあ資料とご理解頂ければいいのでしょうか。そんなようなものを活用してください。そして、あと一つが地区公共イメージ委員長に求められる資格とスキルを特定し、効果的な公共イメージ向上チームを任命することについて学ぶ。要は適材適所で委員会構成してくださいと、これが公共イメージに力を入れることの重要性ということで、可視性が高まる。会員増強と寄付の増加に繋がる。パートナーシップと地元からの支援、会員の積極性が向上。こんなことがあるから重要なんですよということになってまいります。人道的奉仕の増加、これは何かというと、だから公共イメージと認知度の向上は大切なんですよということが言いたい部分です。ロータリーとしては人道的奉仕を増加したい。そのためには、会員増強しないといけません。そうするためには、公共イメージと認知度の向上は大切なんです。これが一番言いたいところでありまして。そして、これがロータリーR Iが行った公共イメージ調査の結果、2015年。これ実は私、日本事務局に聞きました。いつのデータなんですかと。最初、書いてなかったもんですから。これは2015年のものということです。世界主要15か国でアンケート調査をしました。ロータリーを認識しているという人が75パーセントいる。あまり皆さん不思議じゃないですか。こっちは地区はロータリーが浸透しているんですかね。僕の周

りで聞くと、ロータリーといっても結構なんだそれはと言う人いるものから、75パーセントもロータリーを認識しているのかなと僕は思うんですけど。これもR Iに聞きました。どんな人にアンケートを取ったんですかと。そしたら、ロータリーの職員や家族っていうんですね。当たり前じゃないですか、世間の人でもありますって言うんです。アンケートっていうのは周りの本当にロータリーを知らない方に、ロータリー会員じゃない方に知っているか知らないか別として、会員でない方にロータリー知ってるって聞いたらこんなにはいかないですよ。35パーセントの人はロータリーのプログラムは知らない。それから、41パーセントの人が地元のクラブを知っているという。ロータリーのメンバーじゃない方に聞いて、4割の人が地元のクラブ知ってるんですかね。そんなアンケートした人がちょっとそういう人達です。違うかなと。私の実体験、ロータリー知っていますかと言ったら、ライオンズクラブなら知ってるというんですね。ある人はライオンズクラブみたいな集まりっていうんですよ。失礼しちゃうなと思ったけども、なんか考えてみたらいろんな道路そばや何かに、いろんな看板や何かが出ているのはライオンズさんの看板のほうが多いんですよ。ロータリーはあまりあやうことはやっておりませんもんですから。それから、お金持ちの集まりって言われたことがあります。これもショックでしたけど、本当の言葉なんじゃないかな。地区大会をやる「コミネス」あれは公共の建物ですよ。私の年度の時も公共の建物を借りました。そこへこの公共の建物の一部には、まだいくら施設があったんですね。そこへ来た人達が言った言葉が何気なく聞こえちゃったんです。何、今日はこんなに混んで。なんかロータリーの集まり。ああ、お金持ちの集まり



ロータリー：
変化をもたらす

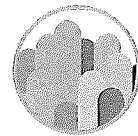
地区指導者育成セミナー講演

ねって、本当にこの耳で聞いたんですね。世間の方のご理解はそんなところなのかなというふうにも思いました。お金持ちが道楽でやっているとはまでは言わなかったから良かったんですけどね。まあ尊敬の意味を込めてお金持ちの集まりって言って頂けたんならいいんだけど、どうもそうじゃなかったような気がするんですけどね。

さて、次に世界を変える行動人という言葉が今年度出て参りました。ご存知でしょうか。これ今我々は勉強していますが、なかなか一般のクラブでこれやっていますかね。世界を変える行動人というキャンペーンなんですね。これがなかなかクラブに浸透してない部分もあるかと思えます。これわたくしの言葉で書きました。公共イメージに関連する様々な課題に取り組むため、ロータリーは今年度、世界を変える行動人と題された新たな公共イメージキャンペーンを開始しました。これが私流にわかりやすく書いたつもりです。キャンペーンの一環としてロータリーのブランドリソースセンターから、これ書いてあるからしょうがない、これはそのまま使いました。資料出してくださいねということですね。ブランドリソースセンターから、新しいメッセージ作成ガイドをダウンロードできます。このガイドにはすべてのロータリアンが一貫した方法で心に訴えるロータリーのストーリーを伝え、ロータリーへの参加を促すためのメッセージが紹介されています。是非これをご覧になってください。ブランドリソースセンターでは、公共イメージに関するその他のリソースを利用できます。これ私の言葉で書いておきましたので、あとでデータからご参考になさってください。そして、この先です。公共イメージキャンペーン、この世界を変える行動人というこのキャンペーンを行った目的ですが、認

識と理解の間の格差を埋めると。知っているということと理解しているということは違いがあるわけですし、この格差を埋める。ロータリーとは何かを定義し、ロータリーによる影響を明確に示す。ロータリーとは何かというのは、確か今年度RI会長仰っていますね。ロータリーって何っていうことを仰っています。3番目、会員の参加、目的意識、寄付活動を促すための土台を築く。それぞれの地元にもふさわしい広告をクラブが作れるようにすると。こんなようなことがキャンペーンの目的になっております。目的を果たすための戦略があるわけですが、まずはロータリアンというのは世界や地域を変える行動人なのです。これがロータリアンですよということのロータリアンを紹介してほしい。そして、地域社会に課題や問題があれば解決策と可能性を見出す、これがロータリアンですよ。そういったことをしているロータリアンの紹介してくださいねと。そして、長期的な解決策をもたらすためにはロータリアンや地域社会のパートナー、あるいは専門家がビジョンを共有して意見を交換してらるんですよ。こういったようなことも示してくださいねと、こういうふうなことが世界を変える行動人キャンペーンの戦略としてあるということをご理解を頂ければありがたいと思います。

新しいリソースということで、これも出ております。いろんなものが資料がありますからご覧下さいという部分です。それとさっき出てきた公共イメージ委員会の人選は、やはりメディアと近い人を入れてもらおうよとか、メディアの知識を持っている人に入れてもらうよとか、その他のことが書いてありますのでご参考になさってください。オンラインでの存在感を高める。ホームページの活用や何かをやってくださいねと。そして、ここに一般の人ではわからないロータリー用



ロータリー：
変化をもたらす

地区指導者育成セミナー講演

語はありませんか。どうも外国から来たものですから外国語をそのまま使ったり、あるいは頭文字の略語を使ったりということで、うっかりするとロータリアンもよくわかっていないんだけど使っちゃうというようなこともあるわけですし、やはり、まず今日は幹部の皆様方ですから、幹部の皆様方がクラブの方にお話されるのには、ご自分自身でその言葉を咀嚼してよくかみしめて咀嚼して、そしてクラブの方にお伝え頂くということが大事だと思います。ややもすると、資料からある言葉をそのまま伝えちゃいますと、そのまんまで通り過ぎちゃう。ですから、自分の言葉に代えるということが大変必要じゃないのかなとこういうふうに思っております。それから。成果を図るということで、何かをことをしたら必ずその結果はどうなったんだということをやらないとやりっぱなしになってしまうことなのです。

例えば、公共イメージ委員会、そこでメディアとの接触する機会を、各クラブとメディアが接触する機会や何かも作ってください、地区の委員会としては。そして、接触した後に今度はメディアの方にロータリーの行事が取り上げてもらったかどうか、こんなことも現実的にどうなったかということも結果を見てください。その他いろいろとストーリーを伝えることができるようになったとか、いろんなことが書いてありますので、この成果を図るということも大切だと思います。

今度はまた、こんなのを入れさせてもらいました。車好きにお付き合い頂きましてありがとうございます。これ、天皇陛下のお使いになった車ですね。戦後は国産にするということで、天皇陛下の車は国産車になりました。今、これは作った所に戻っております。シュツットガルトにあるメルセデスミュージアムに並んでおります。左側にちょっと見えているこれも同じ年式のもので、これは

ドイツの当時の皇帝の車だそうなんですけど、やっぱり天皇陛下の車のほうが色もいいしカッコいいですね。これはシュツットガルトにあります。世間の声と対応というところでさっきありましたが、私のイメージとしては世間の方々はロータリーをご存知ない。ロータリーは何故か。ロータリーはいろんなことをやっていて、イメージがつかみにくい。それぞれのロータリーは最近いろんなことをやっているのをアピールしております。ですけど、とにかくいろんなことをやっていますから一つに絞れていないです。あれがあるかと思えば、こっちでは違うことをやっている。なかなか世間の方々は、一つで頭の中にイメージができていく。よくわかんないから、印象が薄いということなんですね。ですから、多彩な各クラブの社会奉仕をアピールする前に、ロータリー自体を広報してください。ロータリーって何というふうなことなんです。ロータリーって何という質問に対しての答えを各クラブで皆様方が考えてください。これ会長さん、是非やってください。皆さんでこれやってみると結構面白いものができると思います。私自身はこれからちょっと披露させて頂きませんが、ロータリーって何ということについては、それぞれのクラブがまた違うアピールしていたら何にもなんないんですね。地区内くらいは同じアピールしていかないとなかなか通じない。白河は白河



MERCEDES BENZ LIMOUSINE 1934 (天皇陛下御用車)
MERCEDES BENZ MUSEUM / STUTTGART



ロータリー：
変化をもたらす

地区指導者育成セミナー講演

ロータリークラブのほかに何かクラブあるんですか。はい、それぞれ3つあるロータリークラブが違いう説明していたら、また世間の方はわからない。できればこれらは一つの町では同じことやって頂いたほうがいいんじゃないかなと、アピールは。地区内全部が同じアピールなら尚いいし、僕は本当は日本全国がこうなればもっとわかりやすいんじゃないかなというふうに思っております。そういったものを出そうよと。そうすると、それはそれぞれの思いじゃなくて時や人によって変わらない不変の事柄について人に伝えましょうよ。何かということになると、最初に冒頭にやらせて頂きましたロータリーの目的、これは基本的には変わらないわけですから、このロータリーの目的をわかりやすく表して言いましょよ。

最初、ロータリーの目的をあんな形でやらせて頂きました。ここは同じことです。手続き要覧に出ていることをわかりやすくしましょう。これはうちの地区では、こんなシートを作らせてもらいました。さっき言葉は申し上げました。自分と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に奉仕する団体です。あなたも参加しませんかと、さっきと同じです。これ、シートに致しました。これどこに貼ろうかと。いろんな所に貼ればいいんですけれども、これバスに貼りました。私バス屋なものですから。これよく目立ちますよ。目立ちすぎてお客さんから怒られました。というのは、これはずっと契約している車両なんです。これ実はスクールバスなんです。インターアクトクラブがある高校ですから、ご理解非常にいいんです。校長先生にお話したら、大いにやってくださいということで勇んでやりました。何か月か走ったら、学校へご父兄からクレームが行って、もしかしてご父兄がライオンズさんだったんですかね。これ怒られちゃいましたね、もう少し小さ

くなりませんかということで、まあこれはいいですけどということ。この後の車はもう少し小さくして、学校名を大きく書いてるとかですね、そんな具合に致しております。それぐらい目立ちますよ。バスはね、脇やってもあまり見えないんですよ。バス屋の私が言うんだから間違いないです。だって、脇はね、すれ違いながらとか追い抜きながら見たって何書いてあるのかよくわかんない。後ろに付いている車はこれよく見えますから目立つんです。バス1台に広告やって頂くと、広告料だけで、細井さんのところやっていますよ。年間100万くらいとられるでしょう。えっ、ちょっと値切った。大体、一口100万円っていうんですよ。1台に一年間付けると。その柄を変えると、またその柄を作る製作費用もかかっちゃう。ですから、大変高いんです。これはもちろん掲載費ただ、製作費は2万円、こんなんでやりました。まあ、これはうちの例なんですけどね。こちらでもおやり頂いたらいかがかなと。

今のことをロータリーは自分自身と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に奉仕する団体なんですと、それを言った後に、その一環としてうちのクラブでは青少年活動、特に青少年サッカー大会の支援をしていますとか、そういうふうに言って頂ければいいんじゃないかというのが私の提案です。あるいは、必ずこの自分自身と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に奉仕する団体なんなんですよと。その一環として、毎年清掃活動をしています。なんでもいいですから、それを言って頂ければわかやすいんじゃないかと、わたくしはそう思ってこんなような提案をさせて頂きました。さっきちょっと言いましたけども、この目的や何かもクラブで強調したほうがいいと言いましたけども、地域社会に対する活動も全部がじゃないですよ、一つくらいは同一地



ロータリー：
変化をもたらす

地区指導者育成セミナー講演

域では3つなら3つのクラブが同じ活動をされたらいかがでしょう。そうすると、それはアピールする時、非常に目立ちます。メディアもすぐ取り上げてくれます。

例えば、簡単なことです。うちのほうで交通安全の登り旗を作りました。それを地区の交通安全協会にプレゼントしました。川越という所で5つのクラブがまとまってそれをやりました。これで新聞に出ました。一つのクラブだけだと他のクラブに遠慮してメディアは取り扱わない場合がありますから、5つなら5つのクラブ全部まとめたほうがメディアは取り上げやすいです。これは是非、ご理解を頂きたいと思います。うちのほうの行田の2クラブだけであれを取り上げて頂きました。やっぱり、他のクラブがなければ取り上げて頂けません。皆さんの社会奉仕活動を同じにしてくださいというのではなく、アピールするためなら一つくらい同じのをやったらいいんじゃないでしょうかというふうなことです。次はどんなうまいことを言っても日頃の言動に留意する。ロータリアン自身を見ている、世間の方は。ということは、ロータリアン自身がロータリーの広告塔だということです。ですから、私生活におきましても生き生きと輝いてご活躍頂きたい。そして、さっき言いました自分自身と自分の職業を磨いた上で、地域や、あるいは広域で、あるいは業界活動でも、もっと言うなら地域の自治会活動でも、案外ロータリーの方は自治会は家内に任せたくて行かない人が多いんですけど、これはやっぱりやるべきだろうとわたくしは思っております。ロータリーの人、消防団なかなかやらないんですよ。私も消防団だけはね、大変なんですこれ。親父が消防団長やってからよくわかるので。これだけは勘弁してもらいました。あとは全部やりました。交通安全協会は今でもやっています。30前からやって

います、わたくしは。ずっとやっています。そういうようなこといろんなことを、やっぱり地域のこと是非おやり頂きたい。ロータリー以外の地域団体でも、是非ご活躍を頂きたい。間違っても、私ロータリーが忙しいから地域の自治会駄目だよと、これ言ったら近所の人にロータリーが理解されるはずがありません。ですから、これはお忙しいでしょうけども、やっぱり時間を上手に使えば時間というのは必ず生まれます。いろんな団体で積極的に生き生きとご活躍を頂けば、さすがロータリーのリーダーだというふうに言われることだろうと信じております。皆様方が是非、生き生きと活躍して頂きたいと思います。最後にまたこんなのを出しちゃいました。すいません。さっきのは、アウディのミュージアムとメルセデスのミュージアムなんですね。これはミュージアムじゃなくて、私の持ち物です。でも、目のいい人見ました。下の一番右に18分の1って書いてあるんですよ。こういうの30台くらい持っています。馬鹿なことを申し上げました。是非、生き生きと地域の方々といろんなことで活動して頂いて、ロータリーのアピールをして頂ければ幸いです。

皆様方の活躍をお祈り致しまして、お話終了させて頂きます。どうもありがとうございました。

